

■教育目的

医動物とは、いささか乱暴にいうならば、直接的ないし間接的にヒトの健康を損なう病原体から細菌・真菌等微生物やウイルスを除いた動物群を指す。これには原虫、吸虫、条虫あるいは線虫等のいわゆる寄生虫類に加え、節足動物や脊椎動物までもが含まれる。それらのうち、本科目では臨床検査技師国家試験受験に必要となる人体寄生虫類を中心に学習する。医動物学で学ぶ病原体の多くは独特の生活様式をとるため、感染方法や病態発生等がこれまでに学んだ感染症とは大きく異なっていることから、まずはその生活環(ライフサイクルまたは生活史)の理解を中心におき、そこから派生して診断法、治療法あるいは予防法等を学習して国家試験受験に備える。国家試験受験に必要な項目以外に、日常生活において知っておくべき関連項目についても解説する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-② YD-④ YD-⑥】

■学習到達目標

1. 臨床検査技師として、また日常生活において遭遇しうる医動物の生活環(ライフサイクル)を理解する(知識、技能)
2. 生活環の知識を基に、各医動物の病態、検査法および予防法を理解する(知識、技能)
3. 上記「1」と「2」の項目について、予備知識のない一般人に説明できる(知識、技能)
4. 臨床検査技師国家試験における医動物分野の問題を正答できる(知識、技能)

■準備学習(予習・復習)

予習：初回講義の予習は不要。以降は講義予定項目の概要を教科書で事前に確認しておく(30分以上)

復習：講義で学んだ寄生虫の生活環および注意すべき特徴について、予備知識のない一般人に説明することを念頭に理解と定着を計り、その理解度を測るため小テストを受験する(15分)。さらには国家試験受験に向けて知識を整理しておく(20分以上)。必要に応じ、参考として用意した国家試験の医動物学分野過去問題を模擬受験する(10分)。

■授業形態

講義

■授業内容

※学習効果を高めるため、教科書とは異なる順番で講義を進めるので注意すること。

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	医動物学総論 原虫類総論 原虫類各論 1	・医動物学総論(教科書(以下略) pp.1 - 7) 医動物学とは、寄生とは、宿主寄生虫相互関係、寄生虫の生殖・発育 ・原虫類総論(pp.73-74) ・原虫類各論 1 根足虫類、鞭毛虫類(pp.75 - 86)	C8-(4)-①～② E1-(2)-②-1～8 E2-(7)-⑤-1～2 E2-(7)-⑥-1～2
2～3	原虫類各論 2	・原虫類各論 2 孢子虫類(pp.86 - 96)	C8-(4)-①～② E1-(2)-②-1～8 E2-(7)-⑤-1～2 E2-(7)-⑥-1～2
4～5	吸虫類総論・吸虫類各論	・吸虫類総論(pp.39-41) ・吸虫類各論(pp.42 - 54)	C8-(4)-①～② E1-(2)-②-1～8 E2-(7)-⑤-1～2 E2-(7)-⑥-1～2
6～7	条虫類総論・条虫類各論	・条虫類総論(pp.55-57) ・条虫類各論(pp.58 - 72)	C8-(4)-①～② E1-(2)-②-1～8 E2-(7)-⑤-1～2 E2-(7)-⑥-1～2
8～11	線虫類総論・線虫類各論	・線虫類総論(pp.7-9) ・線虫類各論(pp.10 - 54)	C8-(4)-①～② E1-(2)-②-1～8 E2-(7)-⑤-1～2 E2-(7)-⑥-1～2
12～13	衛生動物学	・衛生動物学(pp.97-105)	C8-(4)-①～② E1-(2)-②-1～8 E2-(7)-⑤-1～2 E2-(7)-⑥-1～2
14	寄生虫検査法	・寄生虫検査法(pp.107-127)	C8-(4)-①～② E1-(2)-②-1～8 E2-(7)-⑤-1～2 E2-(7)-⑥-1～2

No.	項目	授業内容	学修／SBO コード
15	まとめ	・総まとめ	

■ 授業分担者

森田 達志(非常勤講師)(No.1～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題 100 % (講義を受講したうえで、毎回の講義後の一定期限内に一回だけ受験が可能な小テストの受験をもって各回の出席および成績評価とする。)

■ 教科書

「最新臨床検査学講座 医動物学 第2版」平山謙二 著 (医歯薬出版)

■ 参考書

「図説人体寄生虫学」 吉田幸雄・有園直樹 著 (南山堂)

「臨床検査知識の整理 医動物学」新臨床検査技師教育研究会編 (医歯薬出版)

「図説 獣医衛生動物学」今井壯一他 著 (講談社)

「最新 獣医寄生虫学・寄生虫病学」石井俊雄 著 (講談社)